勲五等瑞宝章受章
田村利良さん

大字国峰の田村利良さん（72歳）は、秋の叙勲で勲五等瑞宝章を受章されました。

田村さんは、昭和五十七年から二期八年間、甘楽町長の職にあり、町政を執行し地方自治の発展に貢献。町の経済文化の発展に大きく寄与されました。

国際交流や都市農村交流事業、教育施設の整備、環境美化、ほ場整備事業、観光開発、企業誘致、住宅団地などの数多くの功績を残されました。

また、田村さんは町長在任中、町づくりは人づくりを信念に、国際的感覚を身につける必要を説き、その育成に力を注がれました。これが、町づくりの第一歩としてきました。以来、チェルタルド市への中学生派遣、相互交流が順調に続けられています。

田村さんは今回の受章を「私個人が受けてよいものか迷いました。大勢の町民のみなさんの協力があったからこそであり、大変ありがたく思っています。また、私の考え方を理解してくれる人が多く、色々な事業に成果を収めることができました。感謝しています」と謙虚に受け取めていました。

数々のご苦労を苦労ともせず、常に前むきに一歩一歩着実に積み上げた功績がこの度認められたものです。

栄ある受章本当におめでとうございました。

町の面積すこしふえました

国土地理院がこのほど公表した、全国都道府県市区町村別面積調によると、甘楽町の面積は58・45㎢から58・47㎢と少しふえたことになります。

これは、精度の高い地形図の作成や面積値の算出が可能となっているためです。

なお、境界の変更等はありません。

一方、政治の世界では、大戦後、ほぼ一貫して自由民主党が国政を独占していましたが、平成元年七月の参議院選挙において、税制改革による消費税の創設などを争点とする国民の審判により、社会党が多数を占めることとなり、衆議院において絶対多数を誇る自由民主党も、社会党、公明党、民社党などの連合政権構想、共産党による早期国会解散要求の反自民党攻勢にあい、政局は不透明な様相が続きそうです。

現在、甘楽町の世帯と人口は、三千五百二十世帯、一万四千四百九十人で、毎年微増の状態が続いており、当面、目標人口を一万八千人と定め、潤いと活力のある町づくりに努力中であります。

主な事業は、平成四年開通予定の上信越自動車道が、日本道路公団により工事中であります。

町では、秋畑に第三中学校改築工事の完成、県営甘楽北部ほ場整備事業の完成があり、継続事業としては下水道の工事をはじめ、総合公園十八ヘクタールの造成、楽山園の買収を終え、中小路の復元工事等があります。その外、福島地区の土地区画整理事業基本調査に着手し、新屋地区に東部運動場の位置決定を行い、麻場城祉公園の用地買収などの諸事業が進行中であります。

新規事業としては、確実に訪れる高齢化社会にむけての老人保健施設にあわせ、甘楽温泉の活用による開発を着手すべく準備中であります。

甘楽町の勝れた気候風土、歴史と景観を最大限に活用し、住民の皆さんが、この町に住んでいて良かったと言われるような町づくりに町民と共に微力をつくす所存であります。

二十一世紀の住民の皆さんが、身心ともに健康で、「甘楽」の名に相応しい、甘く楽しく豊かな生活を営まれますよう心からご祈念申しあげ、メッセージといたします。

平成元年十月吉日

甘楽町長　富岡秀世